



## 中川の郷療育センター人権宣言

わたしたちは、入所者さんひとりひとりを心からうやまい

安全に配慮したやさしい援助をこころがけています。

成人のかたの名前を呼ぶ時は「～さん」とよんでいます。

何かケアを行う時は、必ず声かけをしています。

お食事は、「おいしく召し上がってください」という気持ちで食事介助をしています。

排泄介助や入浴介助では、入所者さんの尊厳をまもり言動に注意をはらいます。

排泄の有無を大声で言ったりしません。 また、排泄物や便・尿器は人の目にふれないよう援助をします。

睡眠中は眠りを妨げないよう注意をはらいます。

いろいろな年代の方がいることを考慮して、BGMやビデオの選択がかたよらないようにします。

入所者さんのプライバシーを保護するため、知り得た個人の情報を守ります。

職員同士の私語を慎み、入所者さんを交えた明るく楽しい雰囲気作りを心がけています。

わたしたちは、研修や自己研鑽を通して、常に自らの人間性と専門性の向上に努め、専門職としての責務を果たします。

看護職は、自己の責任と能力を的確に認識し、実施した看護について個人として責任をもちます。

指導職は、より良い介護・保育・療育を提供するために振り返り、質の向上に努めます。また、自らの提供した介護などについて専門職として責任をもちます。



2019.7.18 虐待防止実行委員会